

# 金融機関、市場、商品のシステム上の重要性の評価に関するガイダンス(概要)

## IMF/BIS/FSB 作成

### I. 経緯等

- 本ガイダンスは、「各国当局による金融機関、市場、商品のシステム上の重要性に関する評価方法のガイダンスを IMF/FSB 等により策定」という G20 首脳の要請に対応。

### II. 定義

- システミック・リスクは、①全て又は一部の金融システムの機能不全によって引き起こされ、②実体経済に対して重大な負の影響をもたらす可能性のある、金融サービスにおける混乱が生じるリスクと定義。全ての金融機関、市場、商品が潜在的には、システム上重要となり得る。

### III. システム上の重要性の評価のガイダンス

- システム上の重要性に関する評価は、経済状況や金融インフラ、危機管理の枠組み等、多くの要因に影響され、その時々で変化しうるもの。
- システム上の重要性は、指標等の数値基準で単純に評価されうるものではなく、金融システムに関わる定性的な分析に基づく評価付けが必要。
- システム上の重要性の評価において有用となる主要な基準は、
  - ① 規模（システムの構成要素(金融機関等)により提供される金融サービスの総量)
  - ② 代替性（システムの他の構成要素が同じサービスを提供しうる程度)
  - ③ 相互関連性（システムの他の構成要素との関連性)。
- サイズ、代替性、相互関連性の主要な基準による評価は、脆弱性(レバレッジの程度や構造の複雑性等)や困難な局面に対処できる制度(清算・決済システム等)の整備度合という視点により補完されるべき。
- 評価にあたっては、様々な定量分析(各種指標、シナリオ分析等)が活用され得る。一方、実効性のある定量分析のためには、各種データ・ベースの整備が必要。
- 本ガイダンスは、システムの重要性評価に関する基本的考えを示すもので、様々な国及び状況において適用し得る。